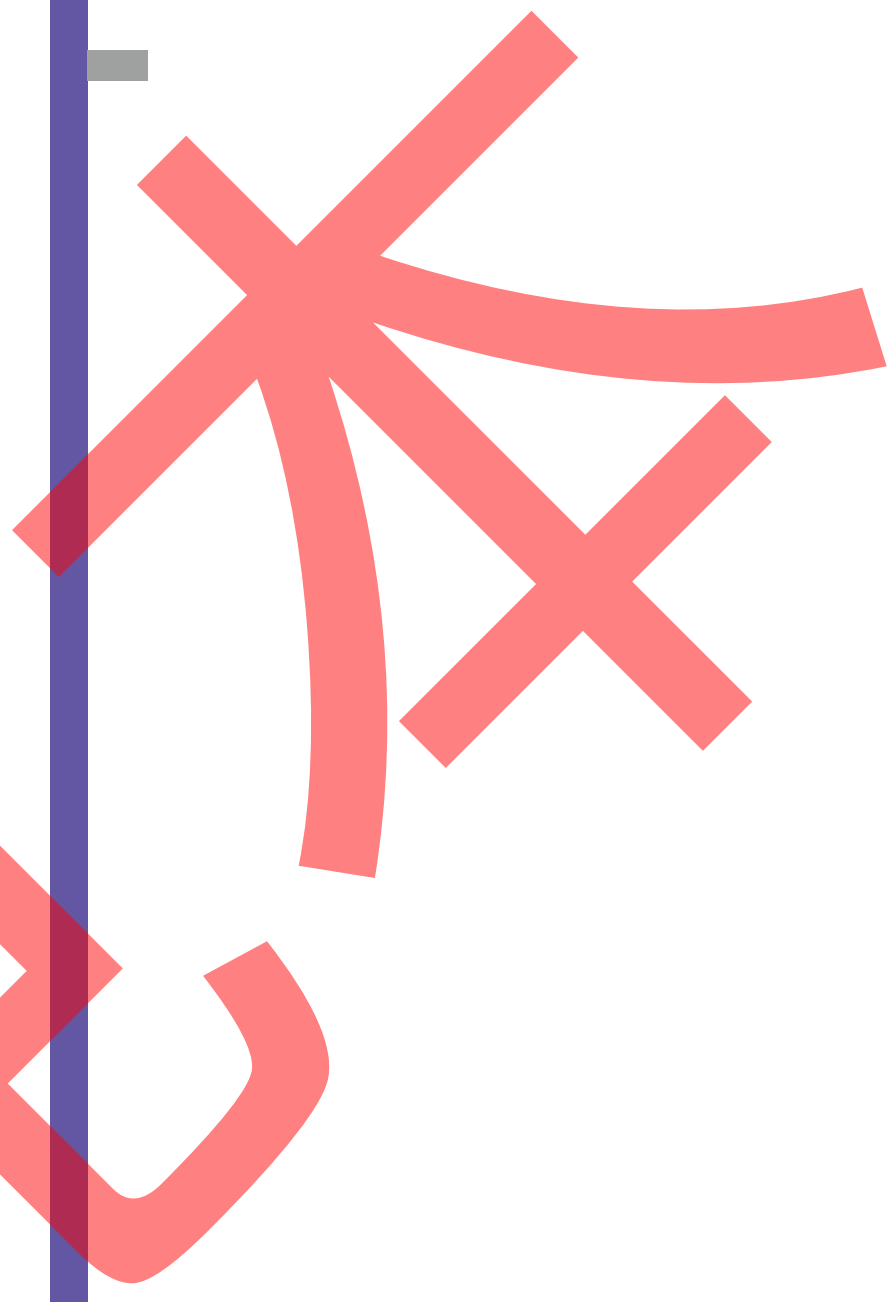
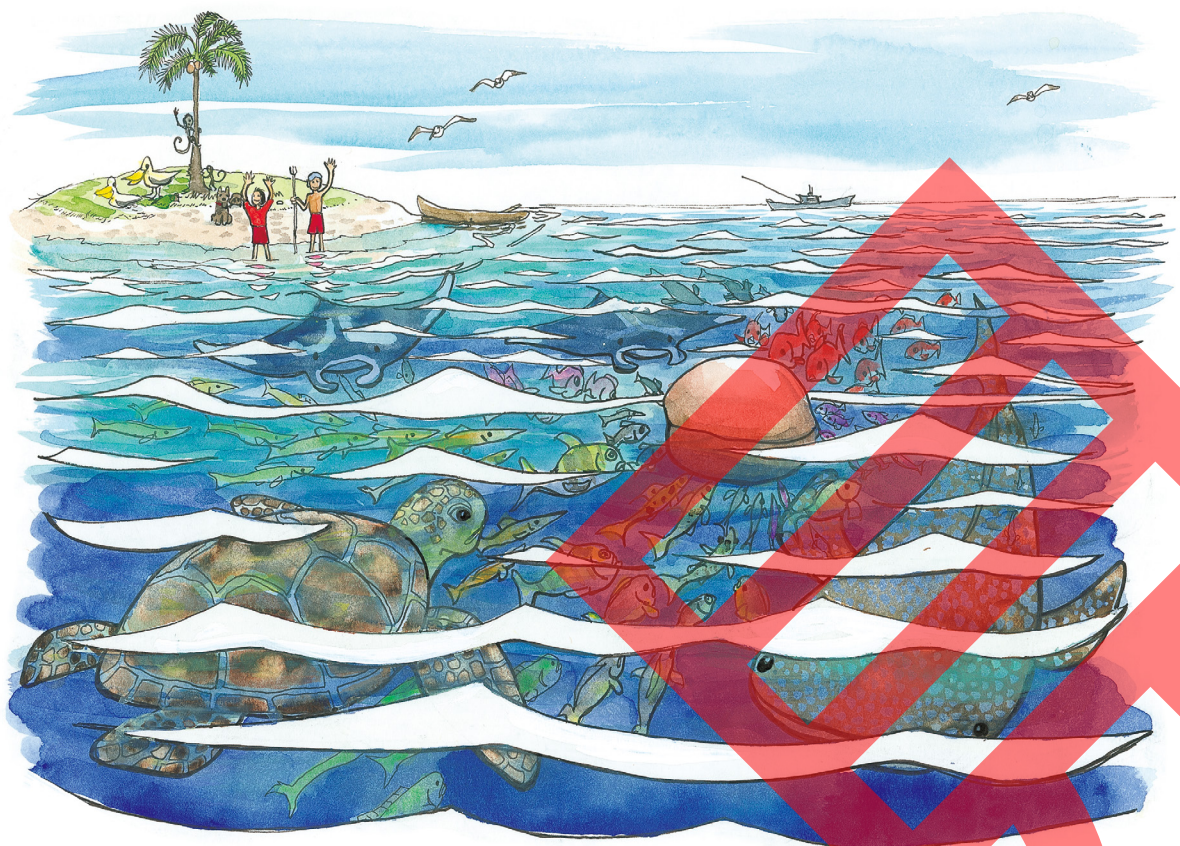


令和
7
年度版

さくぶんのとも 1

～かくこと だいすき～



1	ね ん		く み	な ま え	
---	--------	--	--------	-------------	--

先生と保護者の皆様へ

- ・教科書との関連を図っています。
 - ・児童が自分の力で文章が書けるようになることを意図して編集しています。
 - ・参考作品は「みかわの子」や地域の読書感想文集に掲載されているものを使っています。
- なお、掲載作品の学校名、地区名については執筆時の名前で表記されています。

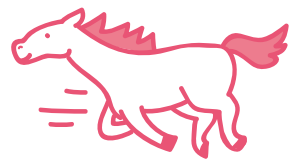
令和7年度版 作 文 の 友 1年

編集 「作文の友」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 0564-51-4819

印刷 あいち印刷株式会社

※無断で複写・複製することを禁じます。

う
ま
が

ひとかみ

「が」を かこう

力

カ

～かくこと

だいすき～

1



もくじ

8	7	6	5	4	3	2	1
すきな おはなしは なにかな…	いちねん 一年かんの おもいでブック…	おはなしを かこう…	おもい出して ^だ かこう…	はっけんしたよ…	ことばあそびうたを つくろう…	こんな こと したよ…	ぶんを つくろう…
30	26	22	14	10	8	6	2

きょうかしよ
37ページ^{ぺえじ}の
えを
みて
ぶんを
つくりましょう。

[illegible][illegible]

③



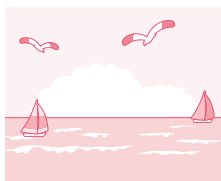
④

A red arrow pointing right, spanning across the grid lines. It starts at the left edge of the grid and ends at the right edge, passing through the vertical dashed line.

れんしゅう

ぶんの おわりには、
(まる)を かきます。

はをつかってえにあうぶんをかきましよう。



うみ

は



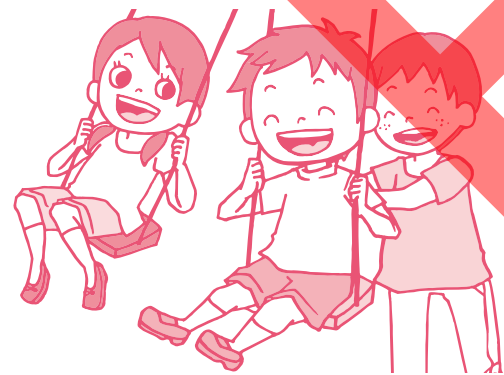
れんしゅう

[illegible]

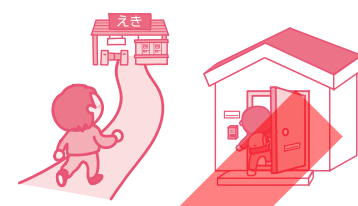
こんな こと したよ



こんな こと したよ



がっこうで どんないえのひとに しらせたい
ことを かきましよう。



--	--

--	--

へ を つかって えに あう ぶんを かきましよう。



--

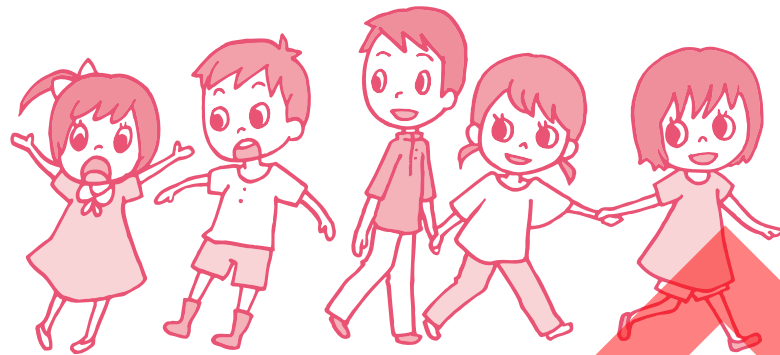
--

--

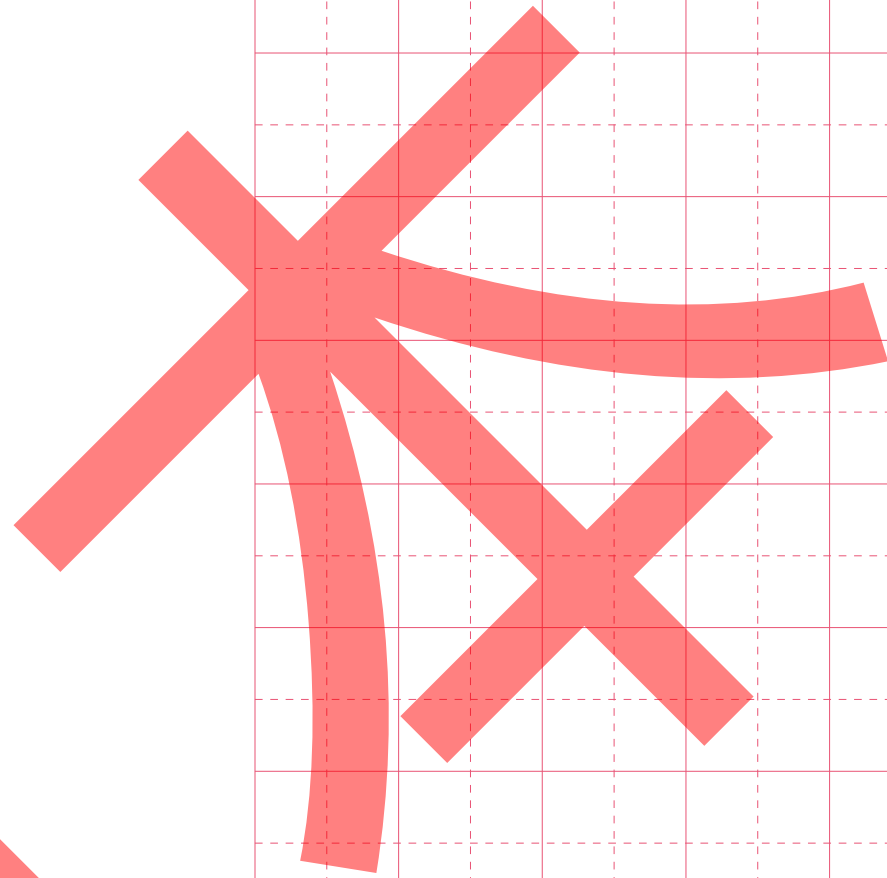
--

を を つかって えに あう ぶんを かきましよう。

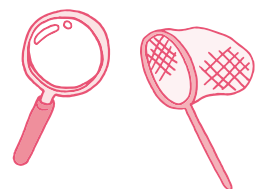
ことはあそびうたを つくろう



みなさんのまわり
にはことばが
たくさん
さんあります。
いろいろなもの
おとやようすを
らわすことばを
つめて、じぶんの
「ことはあそびうた」
をつくりましょう。



はっけん したよ



おもった
こと

さわって
みよう

においを
かごう

よく
きこう

よく
見よう

・きこえる

音

・さわった
かんじ

・うごき

・大きさ

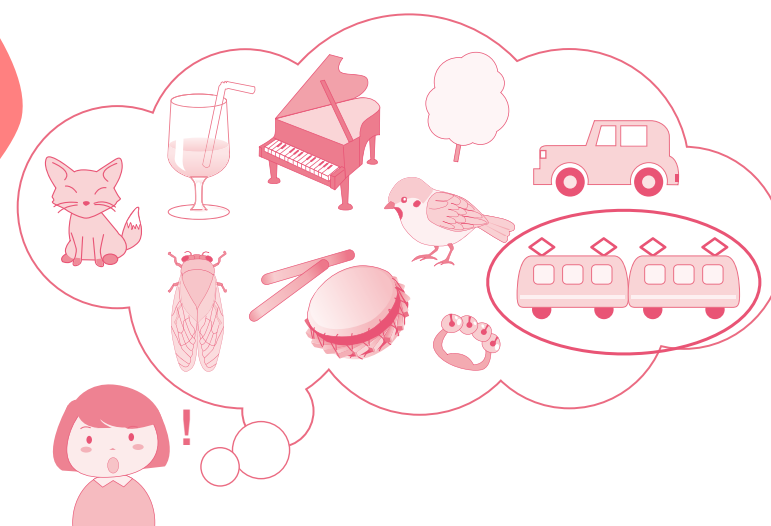
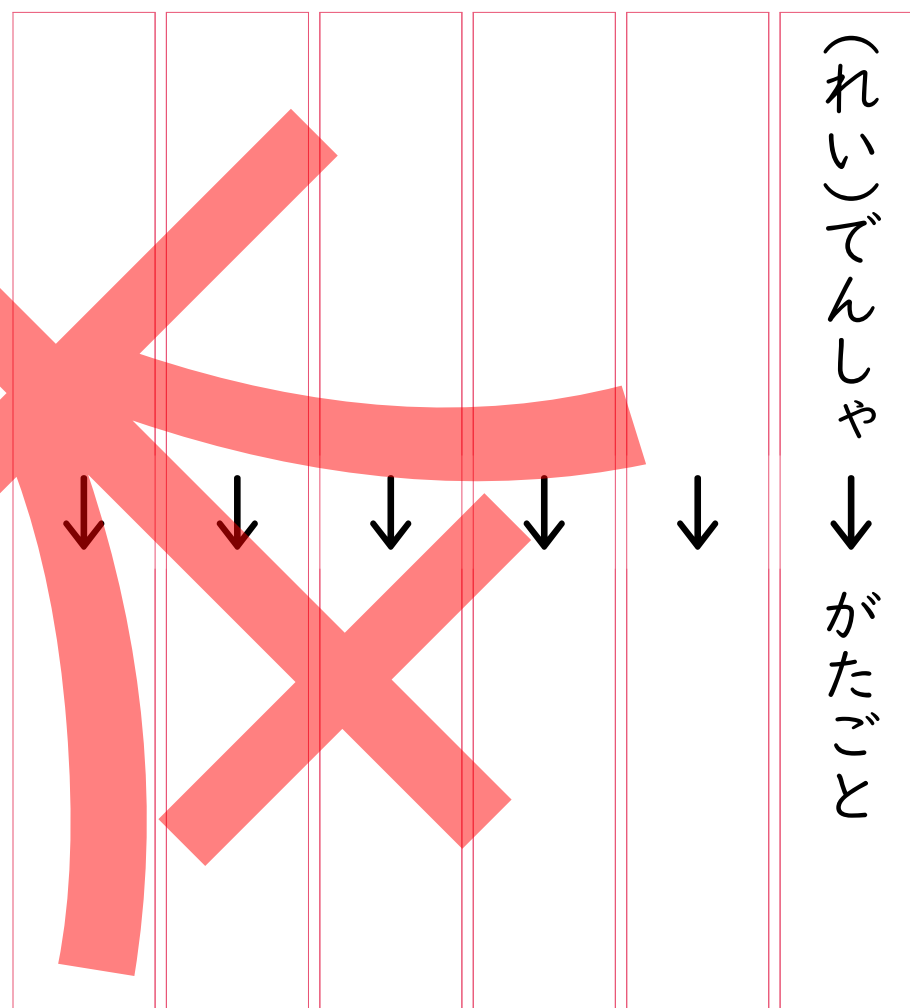
・かたち

・いろ

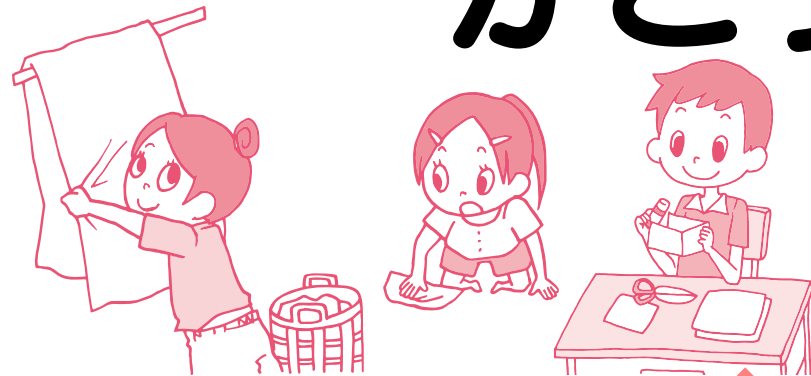
みまわりの
花や木、生きもの
などの
ようすを
文しように
かい
て、
ともだちに
つたえましよう。

ことはあつめを
しよう

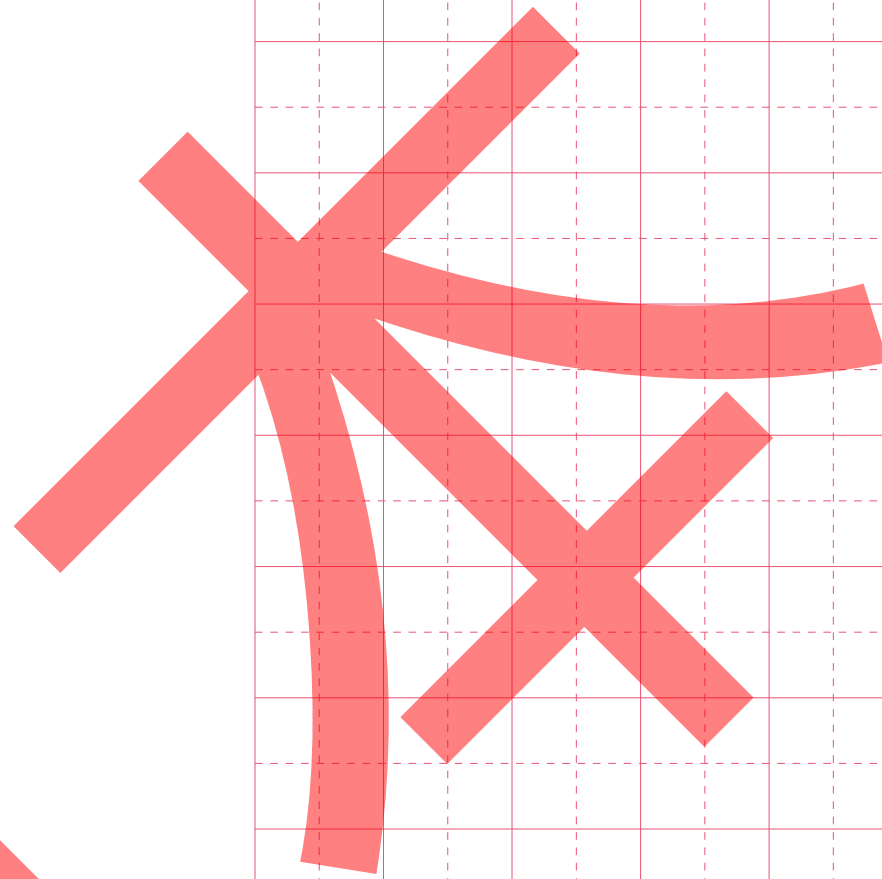
(れい)でんしゃ
↓
がたごと



だ おもい出して かこう



学校^{がっこう}や いえで したこ
 とを、ともだちや 先生^{せんせい}に
 ったえる 文^{ぶん}しょうを かき
 ましょう。
 じゅんじよを あらわす
 ことばを つかって、した
 ことを じゅんに かきま
 しょう。



☆どんな ことについて かきたいですか。
 した ことを おもい出して メモに かきましよう。

学校

いえ

を	れ	に	ぎ	に		ン			
つ	か	は	に	し	は	ド	ぼ		
く	ら	っ	、	て	じ	イ	く		サ
り	、	て	み	、	め	ッ	は		ン
ま	赤 ^{あか}	、	ど	パ	に	チ	、		ド
し	い	レ	り	ン	、	を	ず		イ
た	ろ	タ	い	を	か	つ	こ		ッ
°	の	ス	ろ	つ	み	く	う		チ
も	ね	に	の	く	ね	り	の	も	を
も	ん	し	シ	り	ん	ま	じ	り	つ
い	土	ま	ー	ま	土 ^ど	し	か		く
ろ	で	し	ル	し	を	た	ん	け	っ
の	ト	た	を	た	た	°	に	ん	た
お	マ	°	パ	°	い		、	た	
り	ト	そ	ン	つ	ら		サ		

・した ことを
じゅんにかく。

・どんな こと
をしたのか
かく。

できごとを
かくとき
に
だいじな
こ
と

た。	ら		と	「	と	サ	い	が
	え	ぼ	い	お	な	ン	ご	み
	て	く	い	い	り	ド	に	で
	、	は	ま	し	の	イ	、	、
	う	、	し	そ	せ	ッ	ト	ハ
	れ	お	た。	う	き	チ	マ	ム
	し	い		だ	の	が	ト	を
	い	し	ね。		ゆ	で	と	つ
	な	そ	」		み	き	ハ	く
	と	う			さ	あ	ム	り
	お	と			ん	が	を	ま
	も	い			が	り	は	し
	い	っ			、	ま	さ	た。
	ま	て				し	ん	。
	し	も				た。	で、	さ

じゅんじよを
あらわす
ことば

- ・はじめに
- ・つぎに
- ・それから
- ・さいごに

・そのときの
気持ちをか
く。

はなした ことばの かきかた

はなした ことばを
つけましょう。

かく ときには、かぎ

「」を

れい 「おいしそうですね。」

れいを見て、れんしゅうしましょう。

① たてがきるときはようしの
右上からかきはじめます。

② だいは上を
二ます^{ふた}くらい
あけます。

④ かきははじめは
一ます あけま
す。

⑥ はなしたこ
とばをかく
ときは、かき
うをかえて
かぎ（「」）
をつけます。

げんこうようしの つかいかた

は	と	「	か	ん	し	に	○		○
し	い	さ	ず	が	た	、	ぼ		○
っ	っ	あ	や	お	。	お	く		お
て	た	、	く	に	ま	に	は	も	に
に	の	は	ん	に	ず	ご	、	り	ご
げ	で	じ	が	な	、	っ	ひ	○	っ
ま	、	め	、	り	か	こ	る	け	こ
し	ぼ	よ		ま	ず	を	や	ん	
た	く	う		し	や	し	す	た	
。	は	」		た	く	ま	み	○	

③ 名まえは
を^{ひと}一ます
あけます。
みようじと
名まえのあい
だを一ます
あけます。

⑤ てん（、）や
まる（。）は
一ばん上
こないよう
に、
一ばん下
のま
ますに
入れま
す。



げんこうようしの
つかいかた

☆ かこうと きめた ことを じゅんじよに 気を
つけて かきましよう。

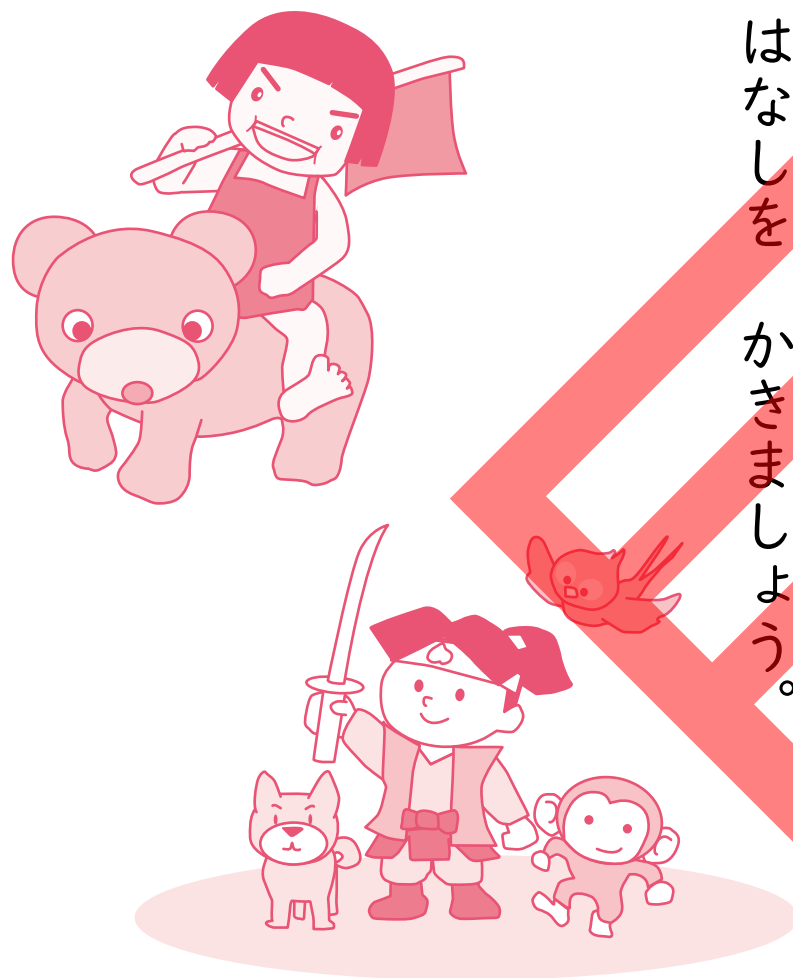
○ どんな ことを したのか かきましよう。

○ した ことを じゅんに かきましよう。

① はじめに、

② つぎに、

おはなしを かこう



おはなしに 出て くる 人^{じん}ぶつ
を かんがえて、じぶんだけの お
はなしを かきましよう。

☆ ここに かいた ことを げんこうようしに
くわしく かきましよう。



○ その ときの 気持ちを かきましよう。

④ さいごに、

③ それから、

☆ おはなしに 出て くる 人ぶつを かんがえましょう。

○ 人ぶつの 名まえ

○ どんな 人ぶつか

--	--	--	--

☆ おはなしを かく。

かんがえた 人ぶつが どんな ことを するのかを
かんがえて、じぶんだけのおはなしを かきましよう。
人ぶつの とくいな ことや できる こと、すきな
ことは、どんな ことでしたか。

だい

--

 名まえ

--

おかしむかし、ある ところに、おじいさんと おばあさんが
すんで いました。

ある 日、おばあさんは、川^{かわ}で

--

 を ひ

ろいました。その

--

 から 赤んぼうが 生^うひ

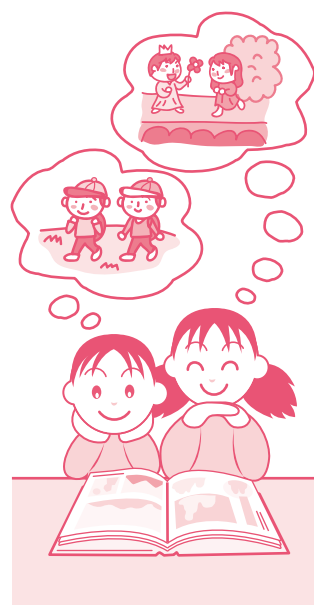
まれました。ふたりは、

--

 と 名まえをつ

けて、そだてる ことに しました。

一年かんの おもいでブック



一年^{いちねん}かんに
かいた文^{ぶん}しょうを
よんで、いちばん
こころにの
こっているで
きごとをえら
びましょ
う。
いえの^{ひと}人に
できごとをつ
た
える文^{ぶん}しょう
をかきましょ
う。

☆ おはなしを
よみあいましょ
う。

☆ いえの 人 に つたえる できごとを えらびましょう。

☆ もっと くわしく かける ところを さがしてみましょう。



☆ 一年かんと ふりかえって、いちばん ころろに のこっている ことを 文しように かきましよう。



① すきな おはなしを おもい
 出しましょう。
 いえや 学校で よんだ お
 はなしの 中^{なか}で、 いちばん す
 きな おはなしは なんですか。
 ② 「しょうかいカード」を かき
 ましょう。
 その おはなしに 出て く
 る 人ぶつ の 中^{なか}で、 どの 人
 ぶつ が すきですか。 すきな
 ところを カードに かきま
 しょう。



かんそう文

ふりかえろう

○じぶんの かいとう 文しょうの いいところが 見つかったら
 をつけましょう。()

☆ 「しょうかいカード」を かきましよう。

おはなしの 名まえ

すきな 人ぶつ

すきな ところ



☆ よんだ おはなしの すきな 人ぶつと、その 人ぶつが した ことを 一つ かきましよう。

れい 人ぶつ

チロ



した こと

○木の上で おばあちゃんに 「ありがとう。」 と さけびました。

すきな 人ぶつと、その 人ぶつが した こと

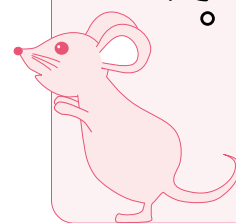
人ぶつ

した こと



☆ こえに 出して よんだ ときに、おもしろかった
ところを かきましよう。

れい ○そして、「ありがとう。」が きえるのを まって、
もう 一ど、こんどは ゆっくり いいました。
「あ、りが、と、う。」



こえに 出して よむと おもしろかった ところ

☆ おはなしを よんで かんがえた ことを かきま
しよう。

れい ○チロが、木の上で おばあちゃんに「ありが
とう。」と さげんだ ところが おもしろかったです。
○おばあちゃんに こえが とどいて びっくりしました。



おはなしを よんで かんがえた こと

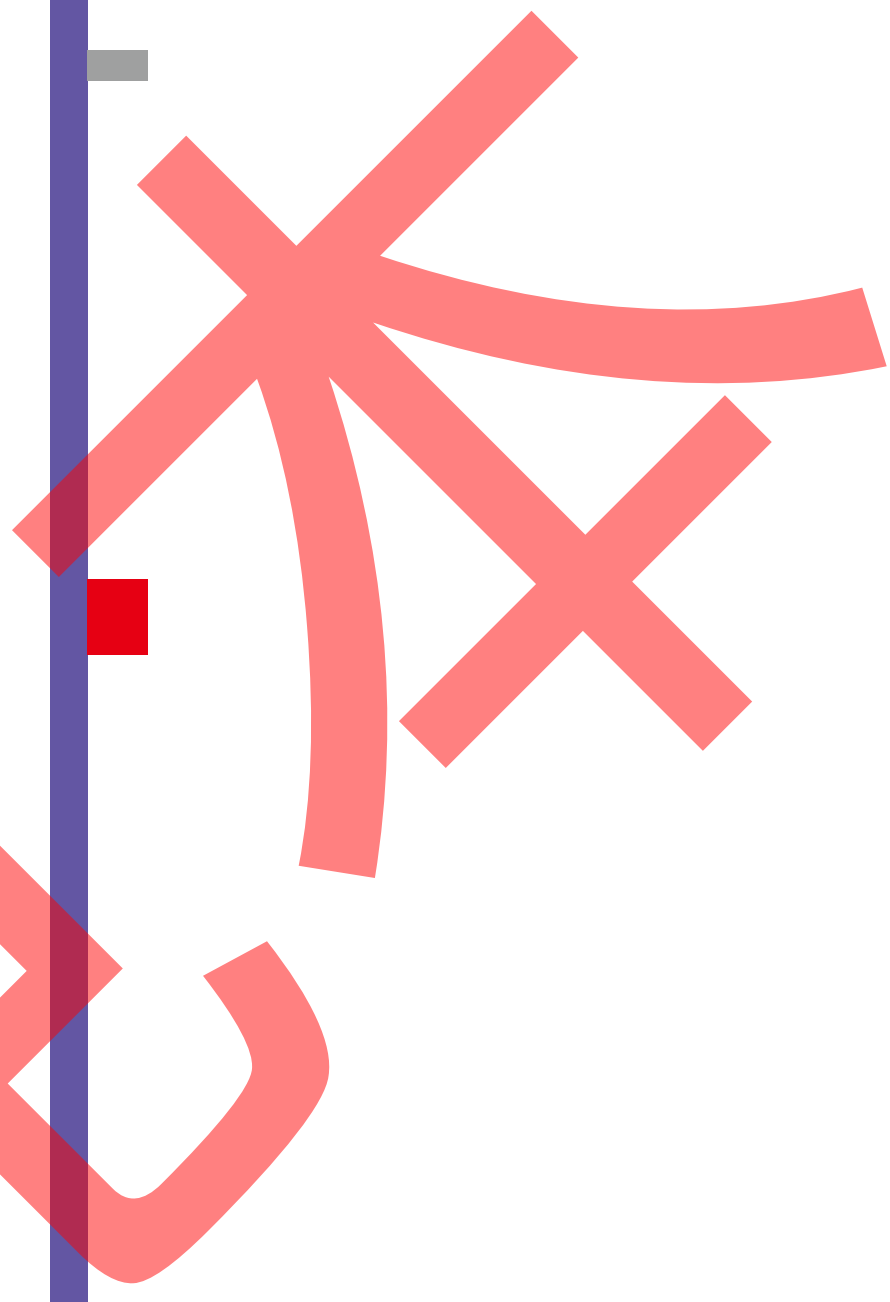
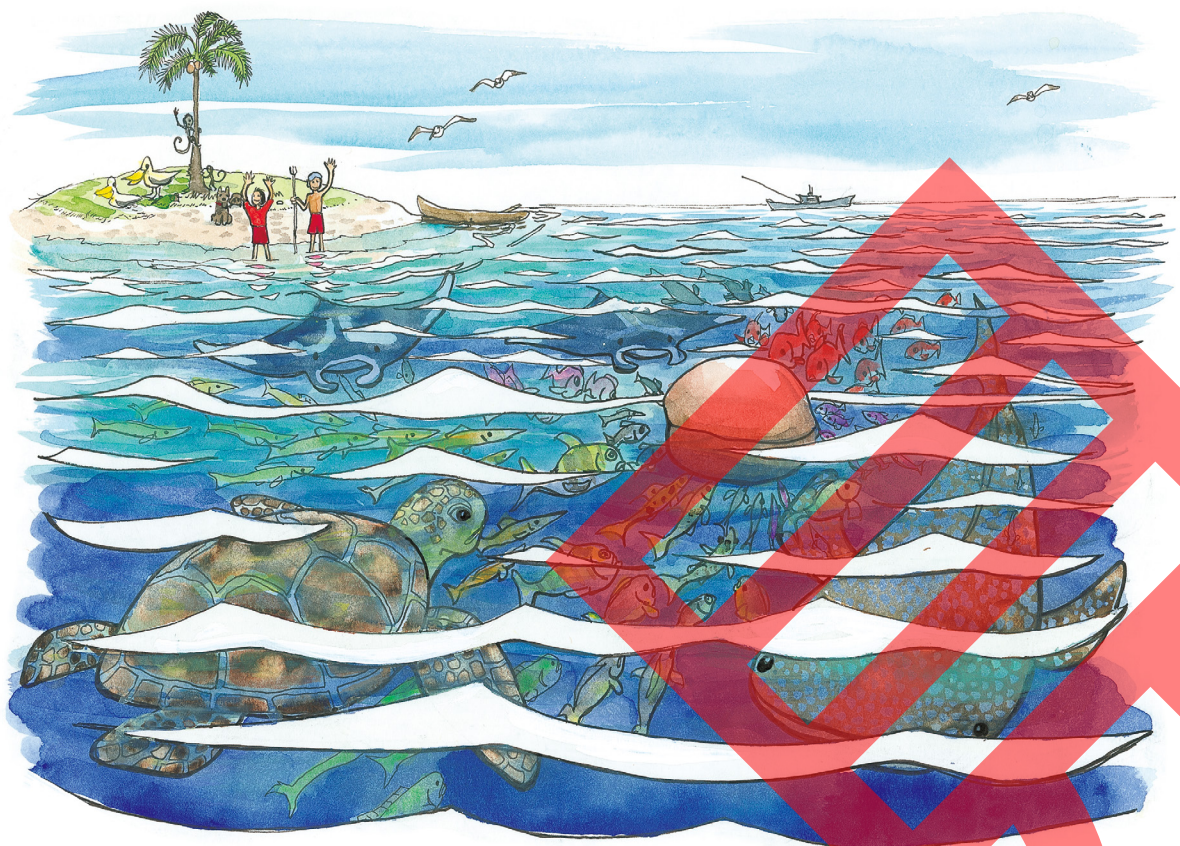
令和
7
年度版

さくぶんのとも 1

～かくこと だいすき～

教

指導展開例あり



1	ね ん		く み	な ま え	
---	--------	--	--------	-------------	--

愛知教育文化振興会
三河教育研究会

先生と保護者の皆様へ

- ・教科書との関連を図っています。
 - ・児童が自分の力で文章が書けるようになることを意図して編集しています。
 - ・参考作品は「みかわの子」や地域の読書感想文集に掲載されているものを使っています。
- なお、掲載作品の学校名、地区名については執筆時の名前で表記されています。

令和7年度版 作 文 の 友 1年

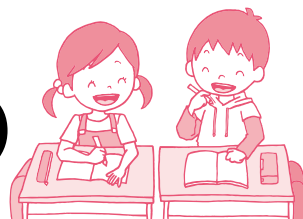
編集 「作文の友」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 0564-51-4819

印刷 あいち印刷株式会社

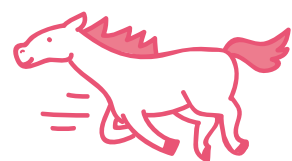
※無断で複写・複製することを禁じます。

ぶんを つくろう



○目標
○関連

主語と述語の関係を考え、
上「ぶんを つくろう」



う
ま
が
は
し
る
○

ひ
と
が
わ
ら
う
○

※濁点の大きさに気をつけて書くように伝える。

1→ 2 3 4 5
か
か
か
か
か

「が」を かこう

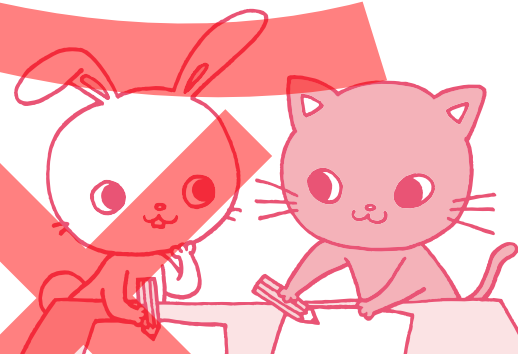
「○○が…する。」の文型で意味が明確な文を書くことができる。

さくぶんの とも

～かくこと

だいすき～

1



8	7	6	5	4	3	2	1
すきな おはなしは なにかな… 30	一年かんの おもいでブック… 26	おはなしを かこう… 22	おもい出して かこう… 14	はっけんしたよ… 10	ことばあそびうたを つくろう… 8	こんな こと したよ… 6	ぶんを つくろう… 2

もくじ

〈教科書との関連〉

上「ぶんを つくろう」上「はを つかおう」

上「こんな こと したよ」

ことばあそびうたを つくろう… 8

はっけんしたよ… 10

おもい出して かこう… 14

おはなしを かこう… 22

一年かんの おもいでブック… 26

すきな おはなしは なにかな… 30

きょうかしよ 37 ページの えをみて ぶんを つくりましょう。

①

とりがとぶ。

②

くまがねる。

③

はながさく。

④

さかながおよぐ。

など

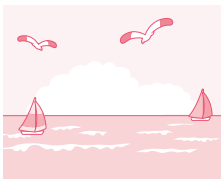


れんしゅう

ぶんの おわりには、
(まる)を かきます。

○目標 助詞「は」の使い方を理解し、一文の意味が明確になるように文を書くことができる。
○関連 上「はをつかう」

はをつかって えにあう ぶんを かきましよう。



うみ

は

例 あおい ひろい つめたい



うきわ

は

例 まるい かるい



かきごおり

は

例 あまい つめたい おいしい

れんしゅう

・話すときの区切りとして使われることに軽く触れる。

○目標 助詞「を」「へ」の使い方を理解し、一文の意味が明確になるように文を書くことができる。

○関連 上「を」「へ」をつかおう

ををつかって えにあうぶんをかきましょう。



か
お

を

あらう

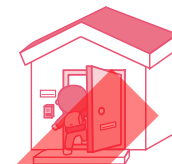


お
か
し

を

たべる

へをつかって えにあうぶんをかきましょう。



い
え

へ

かえる



え
き

へ

いく

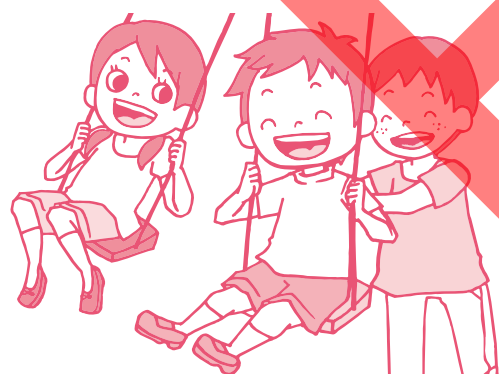
・解答例に限らず、絵に合ったいろいろな文を認める。

○目標 伝えたい内容が明確になるように、語と語や文と文の続き方に気をつけて文章を書くことができる。

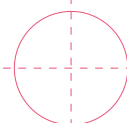
○関連 上「こんな こと したよ」

こんな こと したよ

がっこうで いろんな ことを しま
したか。 いえの ひとに しらせたい
ことを かきましよう。



こんな こと したよ



・教科書(上)P78、P81をもとに、句読点や助詞について、既習事項を確認してから書かせる。
・自分が書いた文を読み返し、間違っているところを書き直させる。

○目標 身の回りのものから書くものを見つけて、それに関わる音や様子を表す言葉を集めたり確かめたりして言葉遊び歌を作ることができる。

○関連 上「ことばあそびうたをつくろう」

ことばあそびうたをつくろう

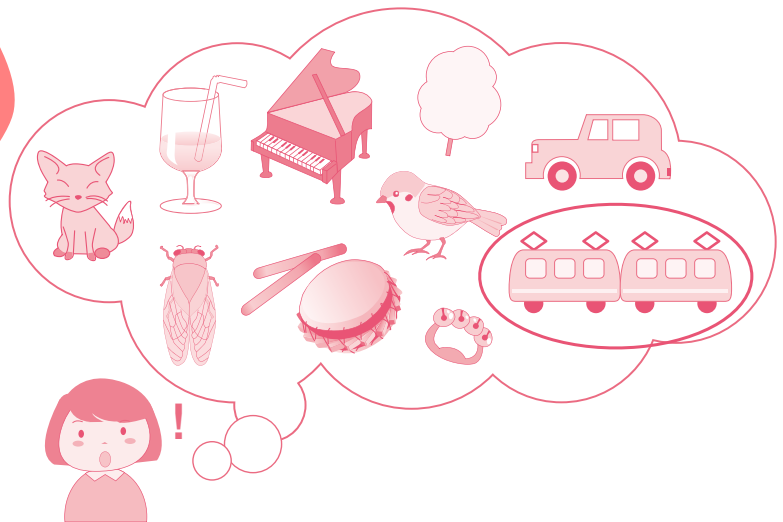


みなさんのまわり
にはことばが
たくさん
さんあります。
いろいろなもの
おとやようすを
らわすことばを
つめて、じぶんの
「ことばあそびうた」
をつくりましょう。

ことはあつめを しよう

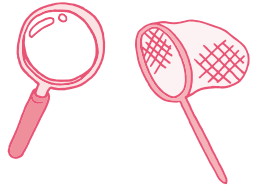
(れい)でんしゃ ↓ がたごと

・教科書(上)P96・P97の「たべもの」を読んだから、自分の「言葉遊び歌」を作らせる。



○目標 観察した動植物の様子を伝えるために必要な事柄を集め、伝えたいことを明確にして書くことができる。
○関連 下「はっけんしたよ」

はっけん したよ



みのまわりの はな花や き木、 い生きもの
などの ぶんようすを ぶん文しように かいかい
て、 ともだちともだちに つたえつたえましょう。



おもった
こと



さわって
みよう



においを
かごう



よく
きこう



よく み見よう

・きこえる

おと音

・さわった かんじ

・うごき

・ おお大きさ

・ かたち

・ いろ

☆ 「はっけんメモ」を かきましよう。

見たもの		見た日 ひ	月 がつ	日 にち
見たばしょ				
気づいたこと き				

・教科書(下)P39を使って「はっけんメモ」の書き方を説明しながらすすめるとよい。

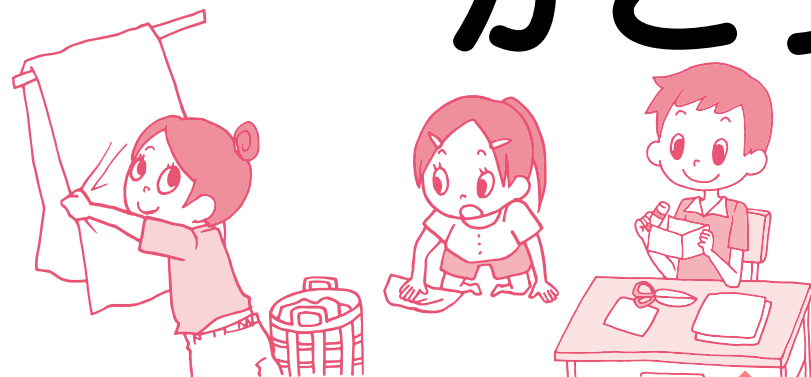
☆ 「はっけんメモ」を 見ながら、文しょうを かきましよう。
かいた 文しょうを ともだちと よみあいましよう。

をよく見たよ

名まえな(

)

だ おもい出して かこう



○目標 経験した順序に沿って簡単な構成を考え、語と語や文と文との続き方に注意しながら書くことができる。

○関連 下「おもい出して かこう」

・教科書(下)P40をもとに、段落のつけ方について、あらかじめ説明しておくとい。

・声に出して読み返し、間違っているところを書き直させる。

学校^{がっこう}や いえで したこ
とを、ともだちや 先生^{せんせい}に
つたえる 文^{ぶん}しようを かき
ましょう。
じゅんじよを あらわす
ことばを つかって、した
ことを じゅんに かきま
しょう。



☆どんな ことについて かきたいですか。
 した ことを おもい出して メモに かきましよう。

学校

(例) 生かつかのじかに、

さつまいもをほった。

いえ

(例) おふろそうじの

お手つだいをした。

を	れ	に	ぎ	に		ン			
つ	か	は	に	し	は	ド	ぼ		
く	ら	っ	、	て	じ	イ	く		サ
り	、	て	み	、	め	ッ	は		ン
ま	赤 ^{あか}	、	ど	パ	に	チ	、		ド
し	い	レ	り	ン	、	を	ず		イ
た	ろ	タ	い	を	か	つ	こ		ッ
。	の	ス	ろ	つ	み	く	う		チ
も	ね	に	の	く	ね	り	の	も	を
も	ん	し	シ	り	ん	ま	じ	り	つ
い	土	ま	ー	ま	土 ^ど	し	か		く
ろ	で	した	ル	した	を	た	ん	け	つ
の	ト	た	を	た	た	、	に	ん	た
お	マ	。	パ	。	い				
り	ト	そ	ン	つ	ら	サ			

・した ことを
じゆんにかく。

・どんな こと
をしたのか
かく。

できごとを
かくとき
に
だいじな
こ
と

が	み	で	、	ハム	を	つ	く	り	ま	し	た	。	さ
い	ご	に	、	ト	マ	ト	と	ハム	を	は	さ	ん	で、
サ	ン	ド	イ	ッ	チ	が	で	き	あ	が	り	ま	し
と	な	り	の	せ	き	の	ゆ	み	さ	ん	が	、	た。
「	お	い	し	そ	う	だ	ね	」					
と	い	い	ま	し	た	。							
	ぼ	く	は	、	お	い	し	そ	う	と	い	っ	
ら	え	て	、	う	れ	し	い	な	と	お	も	い	ま
た	。												し

・劇や本などの題名は「」をつけて書かせる。
 ・「」は、一ます目に書かないようにさせる。
 ・句読点も一ます目にならないよう、一番下のますに書かせる。

じゅんじよを
あらわす
ことば

- ・はじめに
- ・つぎに
- ・それから
- ・さいごに

・そのときの
気持ちをか
く。

はなした ことばの かきかた

はなした ことばを
つけましょう。

かく ときには、かぎ

「」を

れい 「おいしそうですね。」

れい を 見て、れんしゅうしましょう。

「おいしそうですね。」

「おいしそうですね。」

① たてがきときはようしの
右上からかきはじめます。

② だいは上を
二ます。くらい
あけます。

④ かきははじめは
一ます あけま
す。

⑥ はなしたこ
とばをかく
ときは、ぎよ
うをかえて
かき（「」）
をつけます。

げんこうようしの つかいかた

は	と	「	か	ん	し	に	○		○
し	い	さ	ず	が	た	、	ぼ		○
っ	っ	あ	や	お	。	お	く		お
て	た	、	く	に	ま	に	は	も	に
に	の	は	ん	に	ず	ご	、	り	ご
げ	で	じ	が	な	、	っ	ひ	○	っ
ま	、	め	、	り	か	こ	る	け	こ
し	ぼ	よ		ま	ず	を	や	ん	
た	く	う		し	や	し	す	た	
。	は	「	。	た	く	ま	み	○	

③ 名まえは
を一ます
あけます。
みようじと
名まえのあい
だを一ます
あけます。

⑤ てん（、）や
まる（。）は
一ばん上に
こないように、
一ばん下の
ますに入れま
す。



げんこうようしの
つかいかた

・P15のメモをもとに、P16・P17の例を参考にしながら書かせる。

☆ かこうと きめた ことを じゅんじよに 気を
つけて かきましよう。

○ どんな ことを したのか かきましよう。

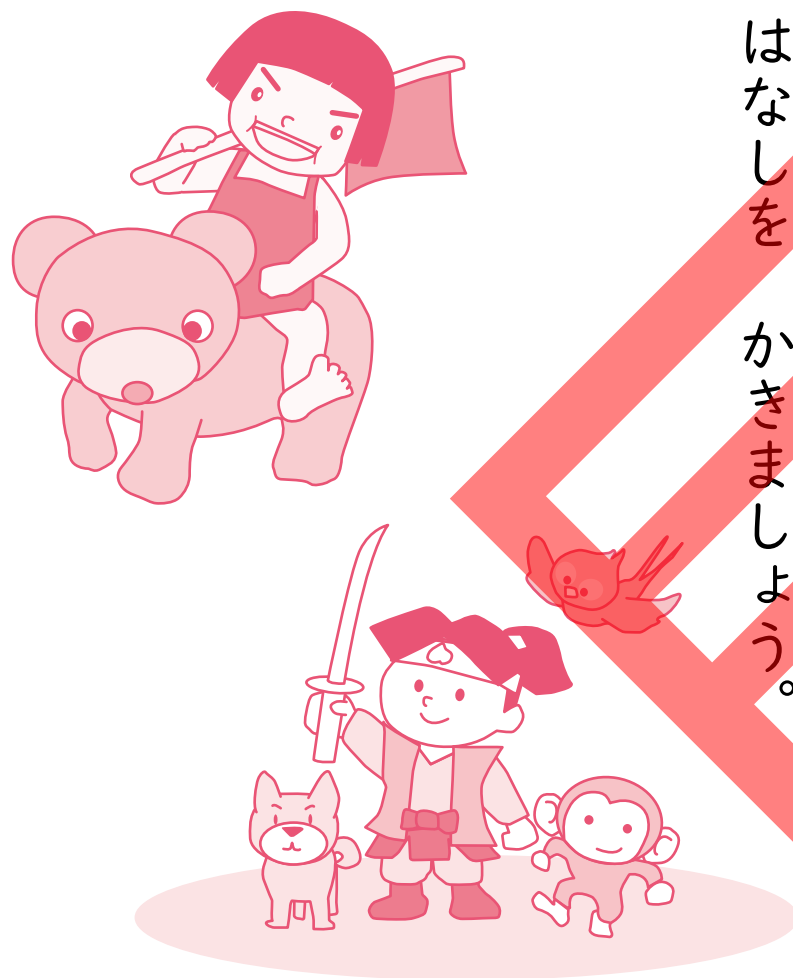
○ した ことを じゅんに かきましよう。

① はじめに、

② つぎに、

おはなしを かこう

○目標 人物とその人物がどんなことをするかを考えて簡単な物語を書くことができる。
○関連 下「おはなしを かこう」



おはなしに 出て くる 人^{じん}ぶつ
を かんがえて、じぶんだけの お
はなしを かきましよう。

☆ ここに かいた ことを げんこうようしに
くわしく かきましよう。
・声に出して読み返し、間違っているところを書き直させる。



○ その ときの 気もちを かきましよう。

③ それから、

④ さいごに、

☆ おはなしに 出て くる 人ぶつを かんがえましょう。

○ 人ぶつの 名まえ

○ どんな 人ぶつか

・教科書(下)P95をもとに、人物の設定を詳しく考えさせる。

☆ おはなしを かく。

かんがえた 人ぶつが どんな ことを するのかを
かんがえて、じぶんだけのおはなしを かきましよう。
人ぶつの とくいな ことや できる こと、すきな
ことは、どんな ことでしたか。

だい 名まえ

おかしむかし、ある ところに、おじいさんと おばあさんが
すんで いました。

ある 日、おばあさんは、川^{かわ}で を ひ

ろいました。その から 赤んぼうが 生^う

まれました。ふたりは、 と 名まえをつ

けて、そだてる ことに しました。

一年かんの おもいでブック

○目標
○関連

これまでに書いた文章から一つ選んで書き直し、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。
下「一年かんの おもいでブック」

☆ おはなしを
よみあいましょう。

いちねん

一年かんに
かいた
文しょうを

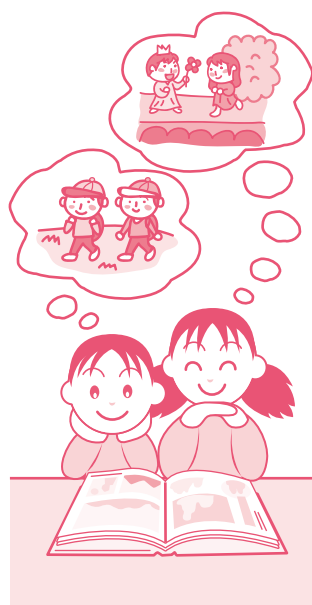
よんで、
いちばん
こころに
の

こっている
できごとを
えらびま

しょう。

いえの
人^{ひと}に
できごとを
つた

える
文しょうを
かきましょう。



☆
いえの
人に
つたえる
できごとを
えらび
ましょう。

(例) うんどうかいのリレー

☆ もっと くわしく かける ところを
さがしてみましよう。

(例)はしっていたとき、くるしかつたこと。

おうえんしてくれしたこと。

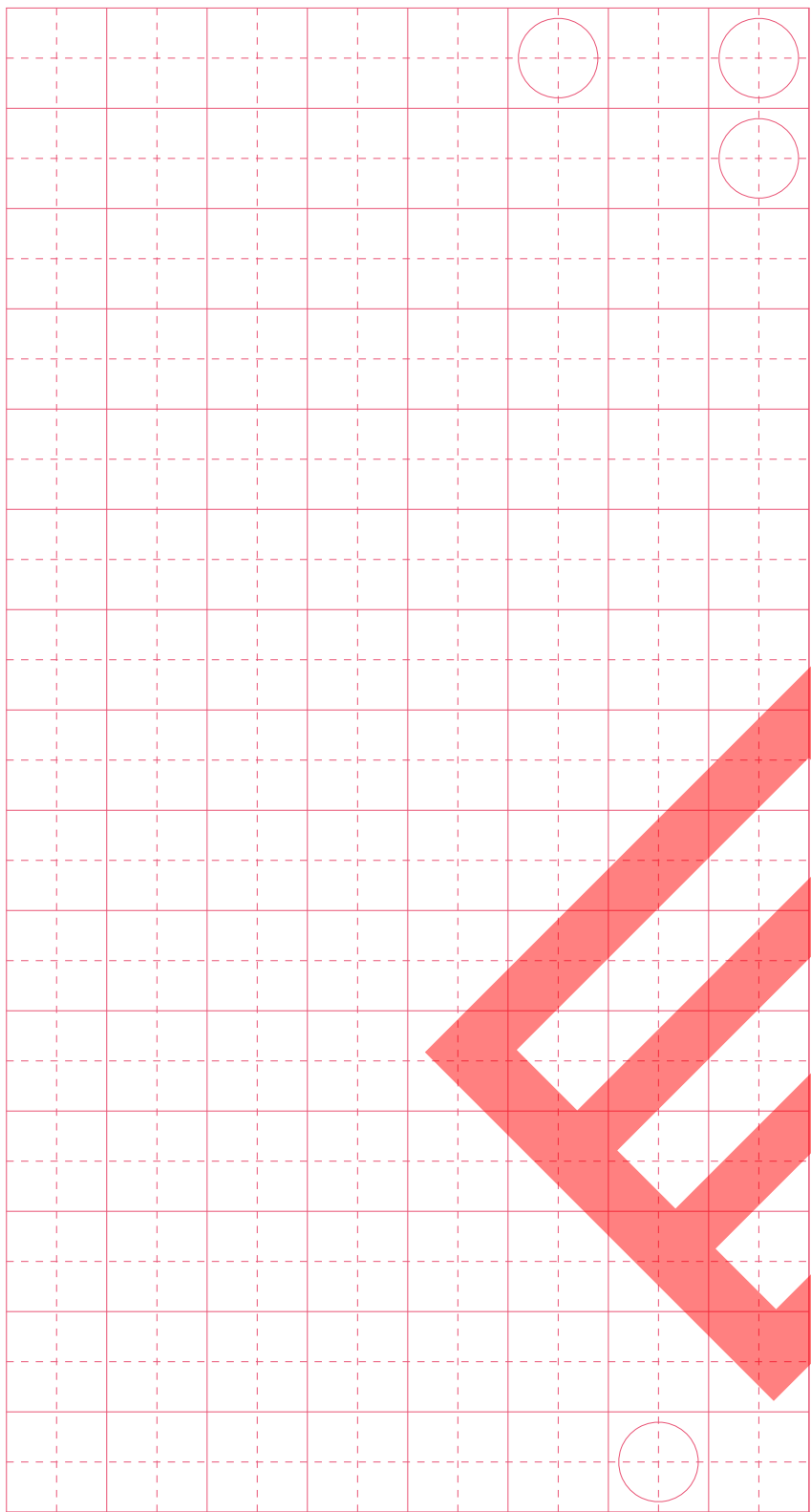
一いになったこと。

など

・教科書(下) P141のふきだしを参考に、その時見たものや、どんなことをしたのかを詳しく思い出させる。



☆ 一年かんと ふりかえって、いちばん ころに のこつ
ていふ ことを 文しように かきましよう。



– 30 –

– 29 –

しよう。

☆ 「しょうかいカード」を かきましよう。

おはなしの 名まえ

すきな 人ぶつ

すきな ところ

・選んだ本を読み返しながら、確認して書かせる。
・読書感想文の構想として活用してもよい。

☆ よんだ おはなしの すきな 人ぶつと、その 人ぶつが した ことを 一つ かきましよう。

れい 人ぶつ チロ

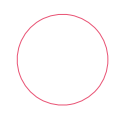
した こと	○木の上で おばあちゃんに 「ありがとう。」
こと	と さけびました。



すきな 人ぶつと、その 人ぶつが した こと

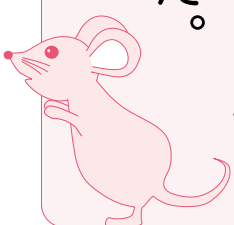
人ぶつ

した こと

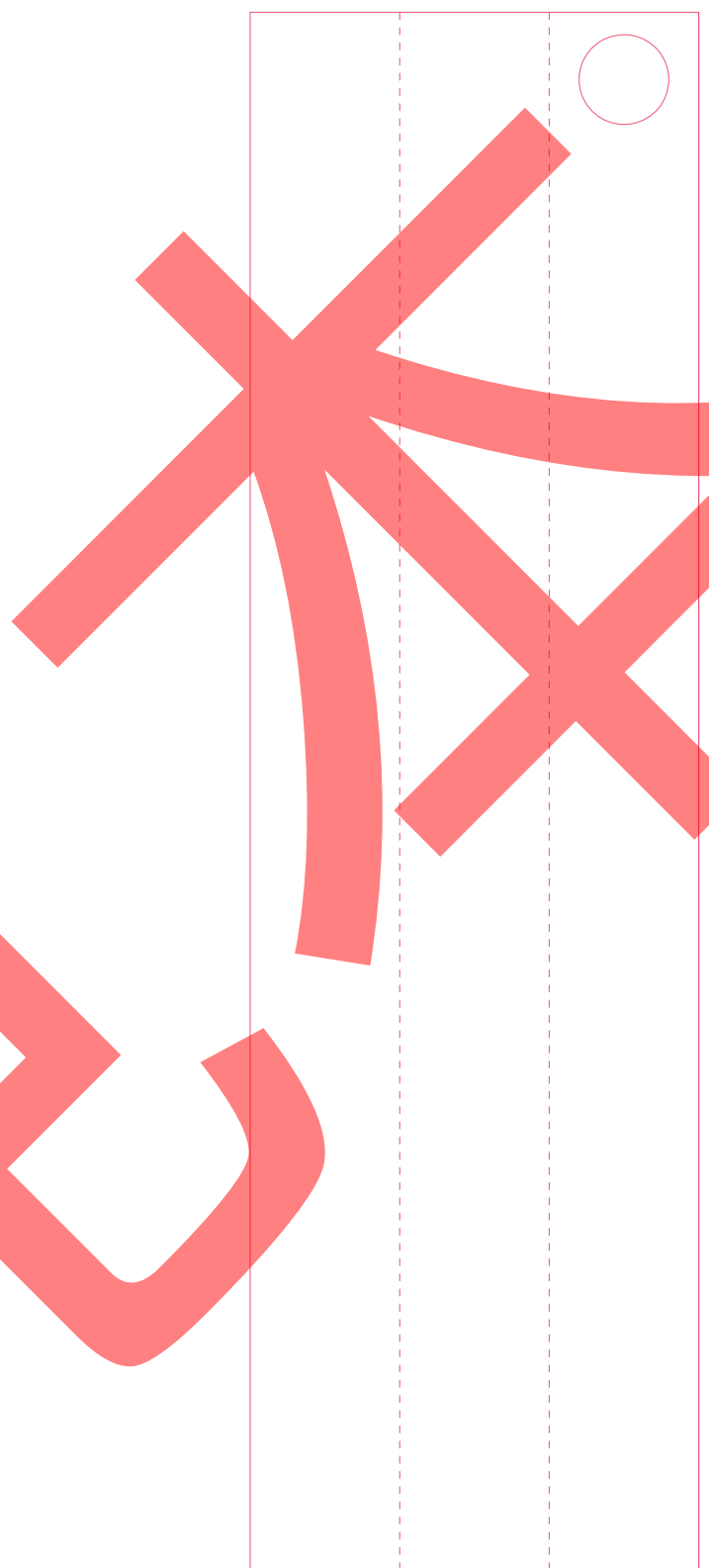


☆ こえに 出して よんだ ときに、おもしろかった
ところを かきましよう。

れい ○そして、「ありがとう。」が きえるのを まって、
もう 一ど、こんどは ゆっくり いいました。
「あ、りが、と、う。」



こえに 出して よむと おもしろかった ところ



☆ おはなしを よんで かんがえた ことを かきま
しよう。

れい ○チロが、木の上で おばあちゃんに「ありが
とう。」と さげんだ ところが おもしろかったです。
○おばあちゃんに こえが とどいて びっくりしました。



おはなしを よんで かんがえた こと



ぶんを つくろう

《教科書との関連》

上「ぶんを つくろう」④を つかおう」⑤を つかおう」

一 学習目標

- 1 主語と述語の関係を考え、「○○が…する。」の文型で意味が明確な文を書くことができる。
- 2 助詞「は」「を」「へ」の使い方を理解し、一文の意味が明確になるように文を書くことができる。

二 指導事項

- 1 助詞の「が」を使って、主語と述語の整った文を作らせる。
- 2 句点、読点の正しい書き方、使い方が分かるようにさせる。
- 3 助詞の「は」「へ」「を」を文の中で正しく使って文を作らせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
「ぶんを つくろう」 ① 主語や述語を、絵や写真を見て考え、文を作る。	①(1) P2の絵をもとに、述語を考え、文を作る。 (2) 教科書(上)P37の絵をもとに、助詞の「が」を使って主語と述語の整った文を作る。 (3) 文の終わりには「。」(句点)を書くことを確認し、位置、大きさ、筆順に気をつけて練習する。	①○教科書(上)P36で、助詞の「が」を使った文の構成を確認した後、「が」の下にくる言葉を、絵を見て書かせる。 ○教科書(上)P37の絵を見て、どんな動物が何をしているのかを発表させてから書かせる。 ○全ての文末に句点があることに気づかせ、句点を書くことで文が終わるということを意識させる。

「はを つかおう」 ⑤を つかおう」 ② 同じ音を表す字の使い分けに気をつけながら、絵を見て「は」を使った文や、「を」「や」「へ」を使った文を作る。	②(1) P4の絵をもとに、助詞の「は」を使って主語と述語の整った文を作る。 (2) 教科書(上)P45の文をもとに、「」(読点)を書くことを確認し、位置、大きさ、形に注意して練習する。 (3) P5の絵をもとに、助詞の「を」「や」「へ」を使って目的語と述語の整った文を作る。	②○教科書(上)P45で、「は」と「わ」の使い分けを確認した後、助詞の「は」を使った文を、絵を見て書かせる。 ○教科書(上)P54・55で、助詞の「を」「や」「へ」を使った文の作り方を確認した後、「を」と「お」や「へ」と「え」の使い分けに気をつけさせながら、助詞の「を」「や」「へ」を使った文を、絵を見て書かせる。 ○文末は、言い切りの形で書かせる。
--	--	---

こんなことしたよ

《教科書との関連》
上「こんなことしたよ」



えにっきをかこう

一 学習目標

- 1 伝えたい内容が明確になるように、語と語や文と文の続き方に気をつけて文章を書くことができる。

二 指導事項

- 1 学校での出来事を詳しく思い出し、主述の照応や句読点の表記などに注意しながら文章に書かせる。
- 2 出来事の様子が読み手に伝わるように文章を書かせる。
- 3 書いた文章を友達と交換して読み合い、感想を伝え合わせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 学校での出来事を思い出し、書くことを決める。	① 学校での遊び、学習などの中から家の人に知らせたいことを決める。	①〇遊びのこと、学習のこと、生活の中の出来事などを自由に思い出させ、書かせる。
② 文章を書く。	② 教科書(上)P 79・80を参考にして、文章を書く。	②〇知らせたい相手を思い浮かべ、伝えたい出来事を分かりやすく書こうという意識をもたせる。 〇書き出しは一字下げて書かせる。句読点や助詞について、既習事項を確認してから書かせる。 〇自分が書いた文を読み返し、間違えたところを書き直させる。
③ 友達や家の人に読んでもらう。	③(1) 友達と交換して書いた文章を読み合い、よいところを伝え合う。 (2) 書いたものを家に持ち帰り、家の人に読んでもらう。	

ことばあそびうたをつくらう

《教科書との関連》
上「ことばあそびうたをつくらう」

一 学習目標

- 1 身の回りのものから書くものを見つけ、それに関わる音や様子を表す言葉を集めたり確かめたりして言葉遊び歌を作ることができる。

二 指導事項

- 1 教科書「たべもの」を音読して楽しみ、音や様子を表す言葉の部分を新たに考えて、自分の「ことばあそびうた」を作らせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 「たべもの」の詩を読む。	① 教科書(上)P 96・97「たべもの」の詩を音読する。	①〇詩を音読し、いろいろな音や様子を表す言葉があることに気づかせる。
② いろいろなものの音や様子を表す言葉を集める。	② 身の回りから、いろいろなものの音や様子を表す言葉を集める。	②〇食べ物だけでなく、乗り物、動物、楽器などの音や様子を表す言葉を集めさせる。
③ 言葉遊び歌を作る。	③ 集めた言葉を組み合わせ、言葉遊び歌を作る。	③〇同じ種類の音や様子を表す言葉(食べ物、乗り物、動物、楽器など)を組み合わせ、自分の言葉遊び歌を作らせる。
④ 作った言葉遊び歌を音読する。	④ 作った言葉遊び歌を音読して、感想を伝え合う。	④〇お互いの言葉遊び歌を聞き合い、音や様子を表す言葉のおもしろさに気づかせる。

はっけんしたよ

《教科書との関連》
下「はっけんしたよ」

一 学習目標

- 1 観察した動植物の様子を伝えるために必要な事柄を集め、伝えたいことを明確にして書くことができる。

二 指導事項

- 1 題材の選び方を学ばせる。
- 2 見た日や場所、見たもの、気づいたこと、思ったことを、順序よく書かせる。
- 3 見つけたものをよく思い出して、生き物の様子や動きを分かりやすく伝えるように書かせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 身の回りにいる生き物を見つけ、書きたいことを考える。	① 身近な動植物の様子を友達に伝えるために、よく見てみたい動植物を選ぶ。 ・ 虫 ・ 小動物（自分の家のペット・学校の飼育小屋の小動物・鳥など） ・ 植物（花や樹木など）	① 季節をとらえ、身の回りの自然や生活の中から、題材を探させる。 ○ 生き物というとらえ方から、虫や小動物、植物へと、題材に広がりをもたせる。

② 「はっけんメモ」を書く。	② ① 「はっけんメモ」の書き方を知る。 (2) 見つけたものの名前、見た日、場所、気づいたことなどをP11の「はっけんメモ」にまとめる。	② 教科書（下）P39の「はっけんメモ」の例を読み、書く事柄（色、形、大きさ、動き、触った感じ、聞こえる音）を理解させる。
③ メモをもとに文章を書く。	③ ① 教科書（下）P40・41を読み、書き方の参考にする。 (2) 自分の「はっけんメモ」をもとにして、文章を書く。 (3) 自分の書いた文章を読み返し、間違いを正しく直す。	③ 教科書（下）P40・41を読み、文章の構成を確認した後、「はっけんメモ」にまとめた事柄を順に書かせる。 ○ 文末を「でした」「ました」の敬体で書かせる。 ○ メモをつないだだけの文章ではなく、思ったことを付け加えて書かせる。 ○ 何の生き物について書いたか分かる題を書かせる。 ○ よく読み直しをさせ、間違っているところは、書き直させる。
④ 見つけたことを文章をもとに発表する。	④ 書いた文章をもとにして、自分の見つけたことを友達と発表し合う。	④ ① 友達の発表をよく聞き、お互いに認め合う気持ちをもたせる。

おもい出して かこう

《教科書との関連》
下「おもい出して かこう」

一 学習目標

1 経験した順序に沿って簡単な構成を考え、語と語や文と文との続き方に注意しながら書くことができる。

二 指導事項

- 1 「はじめ」「したこと（じゅんじょにそつて）」「そのときの気もち」の構成で順序よく書かせる。
- 2 そのときの様子や気持ちを、読み手に分かりやすく伝えられるように書かせる。
- 3 順序を表す言葉を使って書かせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 家や学校でしたことについて、書きたいことを考える。	①(1) 家や学校でしたこと、様子や気持ちが詳しく書けそうなこと、みんなに知らせたいことを考え、P15に書く。 (2) P16・17を読む。 ・「どんなことをしたのか」「したこと（じゅんじょにそつて）」「そのときの気もち」の書き方を知る。	①○家や学校でしたことを思い出させる。 ○P16・17の作品の構成を理解させる。 ○「どんなことをしたのか」「したこと（じゅんじょにそつて）」「そのときの気もち」の内容を確認させる。

② 構成を考える。	② P20・21に構成メモを書く。 ・「どんなことをしたのか」「したこと（じゅんじょにそつて）」「そのときの気もち」のメモを書く。	②○「メモ」にまとめた事柄を「どんなことをしたのか」「したこと（じゅんじょにそつて）」「そのときの気もち」の順に書かせる。 ○P16・17を参考にしながら書かせる。 ○「したこと（じゅんじょにそつて）」は自分のしたことが順序に沿っているか確かめさせる。
③ 原稿用紙に文章を書く。	③(1) 会話文や原稿用紙の書き方を確認する。 (2) P20・21の構成メモをもとに、文章を書く。 (3) 自分の書いた文章を読み返し、間違いを正しく直す。	③○P19やP16・17を活用し、原稿用紙の書き方を理解させる。 ○「したこと（じゅんじょにそつて）」を書く文章の目安を示すなどして会話文や気持ちを表す言葉を加えて豊かな文章になるようにさせる。 ○よく読み直しをさせ、間違っているところは、書き直させる。
④ 発表会をする。	④ 自分の書いた文章を発表する。	④○友達と作文を聞き合い、お互いに認め合う気持ちをもちさせる。

おはなしを かこう

《教科書との関連》

下「おはなしを かこう」

一 学習目標

1 人物とその人物がどんなことをするかを考えて簡単な物語を書くことができる。

二 指導事項

1 教科書の例を参考にして、中心となる人物を考え、その人物がどんなことが得意か、どんなことが好きかを想像し、メモに書かせる。
2 メモをもとに、自分だけの物語を創作し、書き上がった作品を声に出して読ませる。

3 できあがった物語を友達と読み合い、物語のよさを見つけて伝え合わせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 「ももたろう」のお話を聞き、内容を確認する。	① 「ももたろう」のお話では、誰がどんなことをしたのか確認する。	①〇「ももたろう」の読み聞かせを聞き、誰がどんなことをする話だったか確認させる。
② 誰がどんなことをするお話を作るか考える。	② 教科書(下)P95の例を見て、誰がどんなことをするお話にするか考え、P23に書く。	②〇教科書の例を参考にして、自分のお話の主人公と、どんなことが得意か、どんなことが好きかを考えさせる。
③ お話を書く。	③(1) 教科書(下)P96・97の「かはちやたろう」のお話を読む。 (2) メモをもとにして、お話を書く。	③〇メモをもとにして、P24・25にお話を書かせる。 〇大きくなったかどうかは、教科書の例のように、詳しく書かせる。
④ お話を読み合う。	④ 作ったお話を友達と読み合い、感想を伝え合う。	④〇作ったお話を互いに読み合い、おもしろいところやいいなと思うところを伝え合わせる。

一年かんの おもいでブック

《教科書との関連》

下「一年かんの おもいでブック」

一 学習目標

1 これまでに書いた文章から一つ選んで書き直し、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。

二 指導事項

1 これまでに書いた文章を読み返し、一年間の出来事を思い出させ、友達と思い出について話し合わせる。
2 最も強く心に残る事柄を想起し、思い出を詳しく文章に書かせる。
3 書いた文章を家の人に読んでもらい、感想を伝えてもらう。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 一年間の思い出を話し合う。	① 一年間の出来事を思い出し、思い出について話し合う。	①〇これまでに書いた文章を読み返し、一年間の出来事を思い出させる。
② 心に残った出来事をメモする。	②(1) うれしかったこと、おどろいたことなどを思い出し、心に残っていることを選ぶ。 (2) 選んだ出来事を書いた文章を読み返し、詳しく書けそうなことをP27にメモする。	②〇これまでに書いた文章を読み返し、一年間の出来事の中で心に残っていることを選ばせる。

③ いちばん心に残っていることを文章に書く。	③ (1) 一年間を振り返って、いちばん心に残っていることを文章に詳しく書き直す。 (2) 自分の書いた文章を読み返し、間違いを正しく直す。
④ 家の人に文章を伝える。	④ 書き直した文章を家の人に見せたり話したりして伝える。
	③ ○メモをもとに、心に残っていることを文章に書かせる。 ○P19も参考に、原稿用紙の書き方やかぎカッコの書き方など、学習したことを思い出しながら文章に書かせる。 ④ ○書き直した文章を子どもに渡し、家の人に読んでもらえるよう持ち帰らせる。

《教科書との関連》 下「おとうとねずみ チロ」「すきな おはなしは なにかな」		
一 学習目標 1 いろいろな本を読み、読書に親しむことができる。 2 読んだ本の感想をもち、絵や文に書いて、友達に紹介することができる。		
二 指導事項 1 読み聞かせを楽しんだり、読みたい本を探して読んだりできるようにさせる。 2 好きな本について、好きなところの文や絵を書かせる。		
三 展開例		
学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 好きな本を選ぶ。 ② しょうかいカードを書く。 ③ お話の「すきな人ぶつとその人ぶつがしたこと」「おもしろかったところ」「かんがえたこと」を書く。	① 心に残っているお話や本を思い出し、好きな本を選ぶ。 ② P31の「しょうかいカード」を書く。 ③ 例を参考に、自分の好きな本の中から文を選んで書く。	① ○読み聞かせを聞いたり読書をしたりする中で、心に残っている本を一冊選ばせる。 ② ○好きな本について、好きな人物のどんなところが好きかを書かせる。 ③ ○「すきな人ぶつとその人ぶつがしたこと」は本の中から抜き出し、「おもしろかったところ」は音読したときにおもしろかったことを、「かんがえたこと」はお話を読んで思ったことを書くということを確認させる。